



日本語文語文法3週

品詞の分類 活用語：動詞

忠南大学校
李 妙 熙

目次

- 📌 品詞の分類
- 📌 活用語
 - 📌 1. 動詞
 - 📌 2. 形容詞
 - 📌 3. 形容動詞
 - 📌 4. 助動詞

品詞の分類(十品詞)

● 自立語

活用する語……単独で述語になる

動詞

形容詞

形容動詞

活用しない語……単独で主語になる … 名詞

単独で連体修飾語になる…連体詞

単独で連用修飾語になる…副詞

単独で接続語になる…接続詞

単独で感動詞になる…感動詞



品詞の分類

●付属語

活用する語……単独では文の成分にならない

助動詞

活用しない語……単独では文の成分にならない

助詞

活用語：動詞

●特徴

- 活用がある。

動詞は「～ウ」段で終わる。

咲くku 倒すsu 死ぬnu

- 📌 例外。「あり・をり・はべり・いまそがり」
(ラ変動詞-「リ」で終わる。)

- 単独で述語となる。
- 事物の動作・存在・作用を表す。

●活用とは？

📌 (六つの形)

- 死**な**ず・死**な**む。(未然形)…未然状態の形。
- 死**に**たり。(連用形)…用言に連なる形。
- 死**ぬ**。(終止形)
- 死**ぬ**る時、(連体形)…体言に連なる形。
- 死**ぬ**れども、(已然形)…已(すで)に確定した状態の形。
- 死**ね**。(命令形)…命令する時の形。

動詞の活用の種類

古語(9種)

四段活用 →
上一段活用 →
上二段活用 →
下一段活用 →
下二段活用 →
カ行変格活用 →
サ行変格活用 →
ナ行変格活用 →
ラ行変格活用 →

現代語(5種)

📌 五段活用
📌 上一段活用

📌 下一段活用
📌 カ行変格活用
📌 サ行変格活用

規則変化動詞

未然 連用 終止 連体 已然 命令

四段

行く かきくくけけ

上一段

着る きききるきりきよ

上二段

起く ききくるくれきよ

下一段

蹴る けけけるけれけよ

下二段

受く けけくるくれけよ

接続

むず・
てたり・
ときども

不規則変化動詞

未然 連用 終止 連体 **已然** 命令

カ行変格

く 来 こ き く くる くれ こ

こよ

サ行変格

す せ し す する すれ せよ

ナ行変格

死ぬ な に ぬ ぬる ぬれ ね

ラ行変格

有り ら り **り** る れ れ

接続

む ず・たり・とき ども
り

規則変化動詞

よだんかつよう 四段活用動詞

書く	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	かか	かき	かく	かく	かけ	かけ
現代 語	かか かこ	かき かい	かく	かく	かけ	かけ
接続 (現)	ず・む (ない・う)	たり・て (ます・て)		名詞	ども (ば)	

カ・サ・タ・ハ・マ・ラ・ガの各行にある。

👉 文語の**已然形**は現代語では**假定形**である。

不規則変化動詞

^{ぎょうへんかく}ナ行変格活用動詞：死ぬ、去(い)ぬ

死ぬ	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	しな	しに	しぬ	しぬる	しぬれ	しね
現代語	しな しの	しに しん	しぬ	しぬ	しね	しね
接続	ず・む ない・ う	たり・て ます・で		名詞	ども ば	

「ア・イ・ウ・エ」の四段に活用。

不規則変化動詞

ぎょうへんかく

ラ行変格：有り、をり、^{はべ}侍り、いまそがり

あり	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	あら	あり	あり	ある	あれ	あれ
現代語	— あろ	あり あつ	ある	ある	あれ	あれ
接続	ず・む う	けり・て ます・て		名詞	ども ば	

「ア・イ・ウ・エ」の四段に活用。

規則変化動詞

かみいちだん

上一段動詞：着る 似る 煮る^に 干る^ひ 見る 射る^る 居る^る
 率る^る (率^{ひき}ゐる 用^{もち}ゐる) 鋳^いる

着る	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	き	き	きる	きる	きれ	きよ
現代語	き	き	きる	きる	きれ	きろ
接続	ず ない・よう	たり ます・て		名詞	ども ば	命令

「イ」段だけに活用。

規則変化動詞

しもいちだん け
下一段動詞：蹴る

蹴る	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	け	け	ける	ける	けれ	けよ
現代語	けら ける	けり けっ	ける	ける	けれ	けれ
接続	ず ない・う	たり ます・た		名詞	ども ば	命令

上代くう(下2段) → 中古ける(下1段) → 現代ける(5段)

規則変化動詞

かみにだん
上二段動詞：^お起く^い恥づ

^お老ゆ ^く悔ゆ ^{むく}報ゆ(ヤ行上二段動詞)

起く	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	おき	おき	おく	おくる	おくれ	おきよ
現代語	おき	おき	おきる	おきる	おきれ	おきろ
接続	ず ない・う	たり ます・て		名詞	ども ば	命令

「イ・ウ」の二段に活用。

規則変化動詞

しもにだん

ま

下二段動詞：混ず

混ず	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	ませ	ませ	まず	まずる	まずれ	ませよ
現代語	ませ	ませ	ませる	ませる	ませれ	ませろ
接続	ず ない・よう	たり ます・て		名詞	ども ば	命令

「ウ・エ」の二段に活用。

下二段活用動詞

📌 ア行：得(う) 心得(こころう)

📌 ナ行：寝(ぬ)

📌 ハ行：経(ふ) 教(おし)ふ

📌 ヤ行：覚(おぼ)ゆ

📌 ワ行：植(う)う 据(す)う 飢(う)う

📌 ザ行：混(ま)ず

📌 一音節動詞「得(う)・寝(ぬ)・経(ふ)」は語尾、語幹の区別のない語。

不規則変化動詞

カ行変格動詞：来 ^く 出で来 ^い ^く

	未然	連用	終止	連体	已然 (假定)	命令
文語	こ	き	く	くる	くれ	こよ
現代語	こ	き	くる	くる	くれ	こい
接続	ず ない・よう	たり ます・て		名詞	ども ば	命令

「イ・ウ・オ」の三段に活用。

不規則変化動詞

サ行変格動詞：す(～ず) おはす 複合動詞(心す)

	未然	連用	終止	連体	已然	命令
文語	せ ぜ	し じ	す ず	する ずる	すれ ずれ	せよ ぜよ
現代語	し	し	する	する	すれ	しろ
接続	ず ない・ よう	たり ます・ て		名詞	ども ば	命令

「イ・ウ・エ」の三段に活用。

動詞の音便

活用の種類			通常形	→	音便形
イ音便	四段活用	カ行	書きて	→	書いて
		ガ行	急ぎて	→	急いで
		サ行	指して	→	指いて

ウ音便	四段活用	ハ行	歌ひて	→	歌うて
		バ行	飛びて	→	飛うで
		マ行	頼みて	→	頼うで

動詞の音便

促音便	四段活用	タ行	打ちて → 打 っ て
		ハ行	拾ひて → 拾 っ て
		ラ行	走りて → 走 っ て
	ラ行変格		ありて → あ っ て

撥音便	四段活用	マ行	読みて → 読 ん で
		バ行	学びて → 学 ん で
	ナ行変格		死にて → 死 ん で
	ラ行変格		あるなり → あ ん なり

【問題】 次の動詞の活用の種類とそれぞれ活用させなさい。

1. 買^くふ :
2. 悔^うゆ :
3. 得^け :
4. 蹴^ける :
5. をり :
6. 死ぬ :
7. す :
8. ゐる :
9. 覚^{おぼ}ゆ :
10. 案^{あん}ず :
11. 来^く :
12. 飢^うう :

【解答】

活用の種類 未然形 連用形 終止形 連体形 已然形 命令形

1. 買ふ：4段	かは	かひ	かふ	かふ	かへ	かへ
2. 悔ゆ：上2段	くい	くい	くゆ	くゆる	くゆれ	くいよ
3. 得：下2段	え	え	う	うる	うれ	えよ
4. 蹴る：下1段	け	け	ける	ける	けれ	けよ
5. をり：ラ変	をら	をり	をり	をる	をれ	をれ
6. 死ぬ：ナ変	しな	しに	しぬ	しぬる	しぬれ	しね
7. す：サ変	せ	し	す	する	すれ	せよ
8. ゐる：上1段	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ
9. 覚ゆ：下2段	覚え	覚え	覚ゆ	覚ゆる	覚ゆれ	覚えよ
10. 案ず：サ変	案ぜ	案じ	案ず	案ずる	案ずれ	案ぜよ
11. 来：カ変	こ	き	く	くる	くれ	こよ
12. 飢う：下2段	う _ゑ	う _ゑ	う	ううる	ううれ	う _ゑ よ